



消防大学校だより



「予防科」及び「危険物科」における教育訓練 ～違反処理演習について～

消防大学校の教育訓練の中で、「予防科」「危険物科」においては、予防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、教育指導者等としての資質を向上させることを目的にしています。

全国の消防本部で違反対象物公表制度が開始されるとともに、予防行政の中でも、違反是正・違反処理が推進されるようになりました。事実、本校に入校する学生の中にも、違反処理の知識・技術の修得を第1の目的としている方も多くなってきました。そこで、昨年度は、違反処理演習（いわゆる違反処理シミュレーション）の内容を刷新し、より満足度の高い講義となるよう創意工夫したので、これらについて紹介します。

まず、「違反処理の実況見分から命令書の手交、標識の公示までの流れを体得する」ことを目的に掲げ、従前の分業形式（写真撮影役や質問聴取役等の分業）による違反処理を変更し、学生の単独行動とし、一人で全てを処理する形式としました。

また、従前の「消防法（以下「法」という。）第5条の3による避難障害物件の除去命令」及び「法第16条の6による危険物無許可貯蔵の除去命令」に加え、学生のニーズや全国の処理件数を考慮し、「法第17条の4による自動火災報知設備設置の警告」及び「法第12条の3による製造所等の緊急使用停止命令」を新設しました。



設定時間内に全てを終えるよう事案を想定する際も
創意工夫を凝らしている



一筋縄ではいかない関係者(教官)を前に緊張が走る

学生の中には違反処理の未経験者が多いことから、まず座学により、違反処理の意義、目的、質問調書の取り方、名あて人の特定要領等を講義した上で、シミュレーションに入っています。各々が指定された場所に行き『単独』で現地調査を始めるという想定のため、実況見分、写真撮影、質問調書の作成、名あて人の特定など作業量が多く、短い時間内（概ね1時間）に命令書の交付、標識の公示まで行う必要があるため、皆必死で取り組みます。また、違反対象物の関係者役は、消防大学校助教授とし手強い関係者を演じるため、適度の緊張感の中、命令等の事務処理を進めていくこととなります。

終了後、「違反処理をやったことがないので、体験できてよかった。」「初めから最後まで一人で対応したため、違反処理の流れを学べた」との声が多かった一方で、「本講義の時間をもっと増やして欲しい。」「経験豊富な教官がいるので、時間をかけて不安や疑問を解消したかった。」と非常に前向きな意見もありました。

卒業後、「消防大学校で実施した違反処理シミュレーションを地元消防本部で実施した。」という声を聞くことも多く、消防大学校で受けられた教育を確実に所属に還元していると思うと非常にうれしく感じます。限られた期間の中で、疑問を消化しきれないこともあると思いますが、不明な点や壁にあたった時は、消防大学校で出会った仲間を頼り、共に研鑽していただきたいと思います。

消防大学校新訓練場紹介 ～土砂災害対応訓練施設～

近年、気象変動の影響による集中豪雨の発生頻度の増大、大規模地震発生切迫性の増大、更には活発な火山活動など、大規模な土砂災害を引き起こす誘因の多様化、激甚化が懸念されており、平成25年伊豆大島及び平成26年広島市の土砂災害をはじめ、平成30年の大分県中津市及び広島県安芸郡における土砂災害など、全国各地で土砂災害が頻発しています。

これらを踏まえ、救助技術高度化検討会において、平成26年度に土砂災害時の救助活動のあり方について報告書を取りまとめられ、令和元年度には、土砂災害時におけるより迅速かつ効率的な人命救助のための具体的かつ実践的な救助手法についての報告書が取りまとめられた

ところでした。

消防大学校においても土砂災害時における活動について講義を実施しているところですが、より実践的な訓練をカリキュラムに取り入れるため、消防大学校が保有する25mプール跡地に、土砂災害対応訓練施設を整備しているところです。

この土砂災害対応訓練施設は3ブースに分け、1ブースは土砂を使用した基本訓練場、2ブースは砕石を使用した基本訓練場、3ブースは土砂や砕石、模擬家屋を設置して総合的な検索救助訓練場とし、土砂災害時における消防活動訓練を実施することとしています。



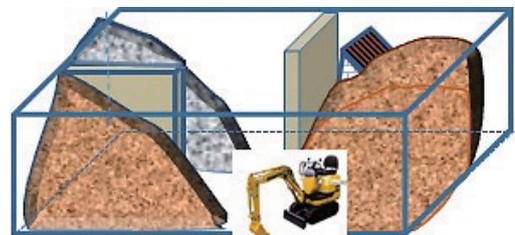
プール跡地



土留めブロック設置



砕石搬入



完成イメージ

我々消防は市民の最後の砦である。決して諦めることは出来ない。どのような災害においても助けられる命は必ず助けられる様に、消防大学校で得た知識、技術を十

分に活用し、それぞれの地域で自分たちが守る市民のために活躍されることを期待します。

問い合わせ先

消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712